

【第1号議案】平成30年度事業報告及び決算報告について
(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

平成30年度事業報告書

1. 登録会員数(平成30年10月31日現在)

個人会員 251名(学生会員8名含む)

法人会員A 49社

法人会員B 3社

公益会員 4社

※「定款 第10条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。
(4)2年以上会費を滞納したとき。」

に従い平成28年度から30年度の会費滞納者15名が資格喪失となった。

2. 一般社団法人環境放射能除染学会 理事会及び総会
理事会及び総会を以下の通り開催した。

1) 第9回理事会

日時;平成29年12月8日(金)16:00-17:00

場所;ハロー貸会議室新橋ルームG

審議事項

第1号議案 平成29年度事業報告及び会計報告について

事務局より議案書のとおり報告が行われ、賛成多数で承認された。

第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算について

事務局より議案書のとおり報告が行われ、賛成多数で承認された。

第3号議案 平成30年度定時社員総会の開催について

議案書のとおり、平成30年度定時社員総会を次のとおり開催することが賛成多数で承認された。

- ・日時 平成30年1月26日(金) 11時40分より12時20分
- ・場所 東京国際フォーラム ガラス棟6階 G610会議室
- ・議題

第1号議案 平成29年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 理事・監事の選任について

第3号議案 定款の変更(学会の名称)について

報告事項

第1号報告 業務執行理事の職務執行状況について

第2号報告 第7回研究発表会について

平成30年に開催する第7回研究発表会について報告。

- ・日時 平成30年7月3日(火)～7月4日(水)
- ・場所 東京都江戸川区 タワーホール船堀

2) 第10回理事会

日時；平成30年1月26日（水）12:20-13:00

場所；東京国際フォーラム ガラス棟6階 G608会議室

審議事項

第1号議案 代表理事、副理事長及び業務執行理事の選任について

代表理事(理事長)に森田理事、副理事長に大迫理事と峠理事を選任した。

第2号議案 会長、副会長の選任について

会長に米田理事、副会長に塚田理事を選任した。

第3号議案 名誉会長、顧問の選任について

鈴木 基之氏、田畑 日出男氏を顧問に選任した。

なお、不破氏のご逝去したため、名誉会長は空席となった

第4号議案 学会表彰規定について

事務局より議案書のとおり報告が行われ、全会一致で承認された。

3) 第11回理事会

日時：平成30年10月22日（月） 12:00~13:00

場所：ハロー貸会議室 新橋G ニュー新橋ビル8階

審議事項

第1号議案 平成31年度事業計画及び収支予算について

事務局より議案書のとおり報告が行われ、全会一致で承認された。

報告事項

第1号報告 第7回研究発表会の結果及び第8回研究発表会の予定について

本年7月に開催された第7回研究発表会の結果の報告が行われるとともに、来年度の第8回研究発表会が、7月10、11日に、けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）で開催予定と報告された。

第2号報告 第7回研究発表会 優秀発表賞の表彰について

事務局より資料に基づき報告が行われた。

第3号報告 県外最終処分に向けた技術開発戦略研究会の設置について

事務局より資料に基づき報告が行われ質疑応答が行われた

第4号報告 2019年度第1通常理事会及び定時社員総会の日程について

事務局より資料に基づき報告が行われ、了承された。

第5号報告 業務執行理事の職務執行状況の報告

理事長より職務実行状況の報告が行われた。

4) 第4回定時社員総会

日時；平成30年1月26日（金）11:40-12:20

場所；東京国際フォーラム ガラス棟6階 G610 会議室

審議事項

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について

事務局より事業報告書、収支計算書、貸借対照表および財産目録の報告が行われた後、中川監事より監事監査報告が行われ、全会一致で承認された。

第2号議案 理事・監事の選任について

事務局より新役員名簿（案）の報告が行われ、全会一致で承認された。

第3号議案 定款の変更（学会の名称変更）について

事務局より議案書の報告が行われ、全会一致で承認された。これにともない、学会名称を「一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会」（通称：環境放射能除染学会）と改めることとなった。

報告事項

第1号報告 平成30年度事業計画及び収支予算について

平成30年度事業計画書及び収支予算書について報告があった。

第2号報告 学会表彰について

表彰制度の開始にともない、表彰規定を設けることとする旨、表彰の概要や表彰委員会の設置および今後のスケジュール等の報告があった。

第3号報告 第7回研究発表会について

日時：平成30年7月3日（火）～4日（水）

場所：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

以上のとおり第9回理事会にて承認されたことが報告された。

3. 講演会活動

第13回講演会

2018年1月26日（金）に、東京国際フォーラム ガラス棟6階 会議室 G610 にて、「除去土壌等の減容化・再生利用と県外最終処分に向けた課題」をテーマに開催した。

講演1. 環境省における最近の取組と将来課題

環境省中間貯蔵担当参事官室 山田浩司

講演2. 除去土壌の再生利用とその課題

京都大学大学院地球環境学堂 勝見 武

講演3. 廃棄物の熱処理減容化

国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 倉持 秀敏

講演4. 県外最終処分に向けた減容化濃縮物の廃棄体化

国立環境研究所 福島支部 山田 一夫

講演5. 県外最終処分に向けて考慮すべき事項

日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター 岡田 尚

パネルディスカッション 講演1～5の論点整理を含めて

座長：国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 大迫 政浩

第14回講演会

2018年10月22日（月）に、ハロー貸会議室新橋 H（ニュー新橋ビル8階）にて、「除染・減容化のための物理的分離法」をテーマに開催した。

講演1 中間貯蔵施設内における除去土壌の分級処理システム実証試験

中間貯蔵・環境安全事業株式会社社長 小林 正明

講演2 湿式分級概論

鹿島建設株式会社押野 嘉雄

講演3 農地土壌等の減容化／再生利用のための湿式解泥・分級技術の課題

京都大学 日下 英史

講演 4 磁気力制御による除去土壌の減容化/再生利用法の開発とその課題

大阪大学 秋山 庸子

講演 5 除染土壌の効率的な前処理のための土質判別システムの開発

株式会社大林組 八塩 晶子

総合討論 フリーディスカッション

司会：環境放射能除染学会 森田 昌敏

4. 研究発表会

第7回研究発表会は、平成30年7月3日(火)、4日(水)に、タワーホール船堀(東京都江戸川区)で行われた。(実行委員長：大迫政浩副理事長)

開催セレモニーでは、和田篤也 環境省大臣官房政策立案審議官より来賓挨拶をいただいた。

今回の発表課題数は、口頭発表件数 54 件(内、企画セッション8件)ポスター発表件数 43 件であった。

企業展示件数は24団体(企業系17件、公共団体系5件、環境NP02件)であった。

参加者数は、1日350名、2日間で延700名であった。

企画セッションは次の2テーマで行われた。

- ・「減容化中間貯蔵県外処分に向けた技術戦略」
- ・「環境放射能と環境再生に向けた技術戦略」

また、2日目午後に環境省との共催で、環境放射能対策にむけての国際シンポジウムが開催された。発表テーマ及び演者は次のとおり。

演題1. 被災地の環境再生に向けた取組の現状

奥山 正樹 環境省 除染業務室長

演題2. 福島第一原子力発電所における事故後の修復政策並びに修復プログラム

—国際的ガイダンス並びに経験に基づく考察

ゲルハルト・プレール 元 I A E A

演題3. 福島県における放射能汚染地域における森林に関する展望

ヴァシル・ヨシェンコ 福島大学環境放射能研究所特任教授

ディスカッション

研究発表会中に懇親会が開催され、120名が参加した。

来賓として、中間貯蔵・安全事業株式会社 小林正明社長よりご挨拶をいただいた。

5. 表彰(学会表彰・発表賞)

ホームページにて学会賞・学術賞・技術賞・奨励賞・功労賞の推薦募集を行い、表彰委員会(委員長：米田稔会長)によって選定、研究発表会で表彰式を行った。

授賞式：2018年7月3日(火) 17:10より 於 タワーホール船堀 大ホール

受賞者：

学会賞 田畑 日出男氏 (いであ株式会社 代表取締役会長)

学術賞 西嶋 茂宏氏(福井工業大学 教授) 秋山 庸子氏(大阪大学大学院 准教授)

技術賞 株式会社 日立製作所 およびグループ各社(ガンマカメラ開発チーム)

奨励賞 川崎 興太氏(福島大学共生システム理工学類 准教授)

奨励賞 倉持 秀敏氏(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 室長)

奨励賞 市川 有二郎氏（千葉県環境生活部大気保全課 元 千葉県環境研究センター）
功労賞 河津 賢澄 氏（福島大学共生システム理工学類 特任教授）
功労賞 三友プラントサービス株式会社
功労賞 福島大学放射線計測チーム
（賞状およびクリスタルの盾（副賞）を授与）

研究発表会において選考委員会（会長・理事長・副理事長・実行委員長）を設置し、内規に則り最優秀、優秀口頭発表賞および最優秀、優秀ポスター発表賞を選考し第14回講演会に合わせて表彰授与を行った。

表彰式：2018年10月22日（月）13：15～13：30 於 ハロー貸会議室新橋H

受賞者：

最優秀口頭発表賞 下山 巖氏（日本原子力研究開発機構）
優秀口頭発表賞 奥村 大河氏（東京大学）
優秀口頭発表賞 渋谷 和俊氏（株式会社太平洋コンサルタント）
優秀口頭発表賞 倉持 秀敏氏（国立環境研究所）
最優秀ポスター発表賞 井倉 将人氏（農業・食品産業技術総合研究機構）
優秀ポスター発表賞 佐々木 尚也氏（福島工業高等専門学校）
優秀ポスター発表賞 佐藤 駿氏（福島大学）
（賞状および副賞の図書カードを授与）

6. ジャーナルの発行

本年度は、vol15 No4 から vol16 No3 までの4巻が発行された。

7. 対外協力

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が作成・運用を行う、福島第一原子力発電所事故に関する情報検索システム「福島原子力事故関連情報アーカイブ（FNAA）」への、第7回研究発表会要旨集の情報を提供し、公開予定。

また、「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」への参加を継続し情報の交流をしている。

8. 分科会活動等

「県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方に関する研究会（通称：県外最終処分技術戦略研究会）」を設置し、除染から最終処分までの全工程の俯瞰と課題の包括的整理、現状の高度減容化技術の調査と整理、到達可能減容化率の試算等に関する調査研究の成果等を踏まえて、県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方について検討を開始した。

平成30年度 収支計算書

平成29年11月1日から平成30年10月31日

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異(決算-予算)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入				
個人会員会費収入	2,007,000	2,052,000	45,000	
シニア会員会費収入	126,000	103,500	△ 22,500	
学生会員会費収入	45,000	4,500	△ 40,500	
法人A会員会費収入	9,000,000	8,100,000	△ 900,000	
法人B会員会費収入	300,000	300,000	0	
公益会員会費収入	200,000	200,000	0	
② 事業収入				
研究発表会収入	5,500,000	4,298,310	△ 1,201,690	
講演会費収入	400,000	351,000	△ 49,000	懇親会参加費含む
学会誌収入	500,000	327,000	△ 173,000	
既刊テキスト販売		58,980	58,980	
④ 雑収入				
受取利息収入		198	198	
その他雑収入		345,000	345,000	前年度分助成金等
その他事業収入			0	
事業活動収入計	18,078,000	16,140,488	△ 1,937,512	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
研究発表会支出	5,500,000	5,935,138	435,138	
講演会費支出	700,000	668,300	△ 31,700	
事業費(その他)			0	
学会誌等刊行費支出	3,000,000	2,941,401	△ 58,599	
部会活動費支出	80,000	0	△ 80,000	
② 管理費支出				
人件費支出	3,240,000	3,250,000	10,000	
法定福利費	600,000	610,678	10,678	
福利厚生費支出	20,000	57,792	37,792	
ホームページ運営費支出	418,000	486,000	68,000	
会議費支出	120,000	533,359	413,359	
旅費交通費支出	500,000	645,460	145,460	
通信運搬費支出	270,000	256,429	△ 13,571	運搬費含
消耗品費	560,000	418,006	△ 141,994	予算にコピー機レンタル料含
リース料		286,344	286,344	
事務所費支出	2,160,000	2,151,495	△ 8,505	水道光熱費・家賃含
支払手数料支出	50,000	31,536	△ 18,464	
業務委託費支出	840,000	840,000	0	事務支援
雑支出	20,000	186,984	166,984	
事務所移転費	0		0	
租税公課	0	0	0	
事業活動支出計	18,078,000	19,298,922	1,220,922	
事業活動収支差額	0	△ 3,158,434	△ 3,158,434	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
V 収支差額				
当期収支差額	0	△ 3,158,434	△ 3,158,434	
前期繰越収支差額	21,748,588	21,748,588	0	
次期繰越収支差額 *	21,748,588	18,590,154	△ 3,158,434	

*安定化資金5,000,000円及び10周年記念事業積立金5,000,000円を含む

貸借対照表

平成30年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産の部)		(流動負債)	
現金	172,700	未払金	0
普通預金	16,198,756	未払費用	131,185
郵便貯金	281,223	前受金	0
前払費用	659,768	預り金	22,670
未収入金	726,310		
流動資産合計	18,038,757	流動負債合計	153,855
(固定資産)		(正味財産の部)	
敷金	705,252	一般正味財産	18,590,154
固定資産合計	705,252	正味財産合計	18,590,154
資産合計	18,744,009	負債及び正味財産合計	18,744,009

財産目録

平成30年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)				
現金		つくば事務所保管	運転資金として	4,745
		東京事務所保管	運転資金として	167,955
普通預金		普通預金	運転資金として	15,750,162
		三井住友銀行つくば支店		
		普通預金	運転資金として	448,594
		三井住友銀行自由が丘支店		
郵便貯金		普通貯金	運転資金として	281,223
		ゆうちょ銀行		
前払費用			講演会・研究発表会準備 技術戦略会議経費	659,768
未収入金			学会誌, 国際シンポジウム 環境省負担分	726,310
流動資産合計				18,038,757
(固定資産)				
その他固定資産	敷金		東京事務所	705,252
固定資産合計				705,252
資産合計				18,744,009
(流動負債)				
未払金				0
未払費用		学会誌支出 管理費支出	人件・交通費等 運搬・消耗品費等	100,556 30,629
前受金				0
預り金			源泉所得税	22,670
流動負債合計				153,855
負債合計				153,855
正味財産				18,590,154

平成30年度監事監査報告書

平成30年 11月 26日
一般社団法人 環境放射能とその除染・
中間貯蔵および環境再生のための学会

監事 柴田康行 

監事 伊川友夫 

1. 帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要事項と思われる監査手法を用いて
計算書類の正確性を検討した結果、貸借対照表、財産目録、収支計算書は
会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財政状況を正しく示
しているものと認める。
2. 事業報告については、事業報告書の内容は真実であると認める。

【第 2 号議案】 理事の選任について

芝本真尚理事（前田建設工業株式会社）の辞任に伴い、補欠（任期は前任者の残存期間）の理事を選任する。

候補者：清水英樹氏（前田建設工業株式会社）

【第 1 号報告】 平成 31 年度事業計画及び収支予算について
(2018 年 11 月 1 日～2019 年 10 月 31 日)

平成 31 年度事業計画書

1. 登録会員数について

学会の発展と安定的な運営に資するため、会員の増加を目指す。

平成 30 年 10 月 22 日現在の会員数は次のとおり

個人会員： 251 名（学生会員 8 名含む）

法人会員 A： 49 社

法人会員 B： 3 社

公益会員： 4 社

この数を上まわる会員数目標を達成するため、会員の要請に応える事業展開をするとともに、広く関係機関に広報活動を行う。

2. 定時社員総会及び定例理事会

定時社員総会

日時 平成 31 年 1 月 28 日(月)

議事 平成 30 年度事業報告及び決算等について審議予定。

第 1 回定例理事会

日時 平成 30 年 12 月 7 日(金)

議事 定時社員総会の日程及び議題について 等

第 2 回定例理事会

日時 2019 年 10 月頃

議事 2020 年度事業計画及び収支予算について 等

3. 講演会

年 2 回程度の講演会開催を目標とする。なお、今後の講演会の一部は、分科会活動や共同研究事業と連携しつつ行う。

・第 15 回講演会

平成 31 年度定時社員総会に併設して実施予定

日 時：平成 30 年 1 月 28 日（月）

場 所：ハロー貸会議室 新橋H

テーマ：「除去土壌等の化学処理による減容化等について(仮題)」

・第 16 回講演会

2019 年度第 2 回定例理事会に併設して実施予定

4. 研究発表会（国際シンポジウム併設）

第 8 回研究発表会を福島県郡山市において開催予定。

日 時：研究発表：2019 年 7 月 10 日（水）、11 日（木）

エクスカージョン：中間貯蔵現場等を検討：7 月 12 日（金）

場 所：けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）

5. ジャーナルの発行

学会誌の発行については年4回を予定。

6. 分科会活動等

分科会を設置し、分野別に各種知見・技術をとりまとめることは学会発足以来の課題となっている。今後、関係機関と連携をしつつ、講演会活動、現地視察研修等を通じて段階的に活動を具体化する

また、「県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方に関する研究会（通称：県外最終処分技術戦略研究会）」を設置し、除染から最終処分までの全工程の俯瞰と課題の包括的整理、現状の高度減容化技術の調査と整理、到達可能減容化率の試算等に関する調査研究の成果等を踏まえて、県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方について検討を行う。

7. 関係機関との協力

中間貯蔵・環境安全事業株式会社との「連携・協力に関する協定」に基づき、連携・協力の実質化を開始する。現在共同研究について検討中。

平成31年度 収支予算書

平成30年11月1日から平成31年10月31日

一般社団法人 環境放射能除染学会

単位:円

科 目	31年度予算	30年度予算	参考:前年度実績(暫定)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入			10,751,000
個人会員会費収入	2,043,000	2,007,000	2,043,000
シニア会員会費収入	103,500	126,000	103,500
学生会員会費収入	4,500	45,000	4,500
法人A会員会費収入	8,400,000	9,000,000	8,100,000
法人B会員会費収入	300,000	300,000	300,000
公益会員会費収入	200,000	200,000	200,000
② 事業収入			
研究発表会収入	5,000,000	5,500,000	4,356,310
講演会参加費収入	400,000	400,000	297,000
学会誌収入	400,000	500,000	288,000
既刊テキスト販売	50,000		54,120
受託事業収入	1,900,000		
③ 雑収入			
受取利息収入			198
その他雑収入			345,000
事業活動収入計	18,801,000	18,078,000	16,091,628
2. 事業活動収支の部			
① 事業費支出			
研究発表会支出	5,000,000	5,500,000	5,989,088
講演会費支出	700,000	700,000	694,000
学会誌等刊行費支出	2,300,000	3,000,000	2,229,446
部会活動費支出	80,000	80,000	0
受託事業支出	1,091,000		
② 管理費支出			
人件費支出	3,360,000	3,240,000	3,250,000
法定福利費	520,000	600,000	517,767
福利厚生費支出	100,000	20,000	96,288
ホームページ管理・維持費支出	418,000	418,000	486,000
会議費支出	300,000	120,000	530,000
旅費交通費支出	500,000	500,000	610,000
通信・運搬費	260,000	270,000	256,287
消耗品費	550,000	560,000	545,540
備品費	250,000		
事務所費支出	2,160,000	2,160,000	2,152,461
支払手数料支出	30,000	50,000	27,356
業務委託費支出	840,000	840,000	840,000
雑支出	100,000	20,000	188,856
リース料	172,000	0	286,344
租税公課	70,000		
事業活動支出計	18,801,000	18,078,000	18,699,433
事業活動収支差額	0	0	-2,607,805
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
2. 投資活動支出			
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
2. 財務活動支出			
IV 予備費支出	0	0	0
V 正味財産期初残高			
当期収支差額	0	0	-2,607,805
前期繰越収支差額	19,140,783	21,748,588	21,748,588
次期繰越収支差額 *	19,140,783	21,748,588	19,140,783

* 安定化基金5,000,000円及び10周年記念事業積立金5,000,000円を含む

【第2号報告】

第8回研究発表会について

2019年に開催する第8回研究発表会は、次のように開催する。

- ・日時 2019年7月10日(水)～7月11日(木)
7月12日(金)は現場見学を予定
- ・場所 けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)

また、国際シンポジウムは上記期間内の開催を含め、別途内容等を検討することとした。